



# 1 学びの県づくり

## 新時代に対応した教育環境の充実

### ◆新時代に対応した教育に必要な校内無線LANなどのICT環境を整備するとともに、教員が児童生徒と向き合い、質の高い授業づくりに専念できるよう働き方改革を推進

県立学校におけるICT環境の整備 36億171万6千円 ※令和元年度2月補正(国補正対応分)を含む(4億7429万9千円) ⇒教育委員会5

課題解決能力や論理的思考力を育む「探究的な学び」に必要なICT環境を整備

- ・県立学校(高校82校、特別支援学校18校)の全教室に、高速大容量で接続可能な校内無線LANを令和2年度中に整備
- ・県立学校の児童生徒が毎日2コマ程度の授業で活用できるよう、3人に1台のタブレット型パソコン等を令和4年度までに整備

学校における働き方改革の推進 1億5095万7千円(1億2425万3千円) ⇒教育委員会6・7

- ・授業以外の諸業務を補助するサポートスタッフを一定規模以上の小・中学校と特別支援学校に配置(121校→152校)
- ・中学校の部活動の指導等を教員と連携して行う部活動指導員の配置を支援

私立学校への助成を充実 108億7504万3千円(99億2305万7千円) ⇒県民文化部1

- ・私立幼稚園の運営費や障がい児受入れの補助を引上げ

## 知の拠点としての高等教育機関の魅力向上

### ◆大学等の高等教育機関の魅力を高め、地域の知の拠点としての機能を充実

大学や学部を新設する県内大学を支援 5億5367万5千円(3008万2千円) ⇒県民文化部2

- ・松本看護大学(仮称)の新設
- ・佐久大学ヒューマンケア科学部(仮称)の新設

## 学びの改革の推進

### ◆変化の激しい時代に求められる資質・能力を備えた子どもたちを育てるため、幼児期から高校までの各年代で学びの質を高める改革を推進

小学校での学びにつながる幼児教育の充実 574万6千円(471万7千円) ⇒教育委員会1

- ・幼稚園や保育所などで「遊び」を通して育んだ主体性を小学校の「学び」につなげる接続カリキュラムの開発を進めるとともに、園種を越え、現場に立脚した研修を実践

(新)「学びの改革」に取り組む小・中学校への支援 323万9千円 ⇒教育委員会2

- ・学年担任制やタブレット活用による自由進度学習など「学びの改革」に取り組む小・中学校(25校)を支援

新しい時代に必要な力を育む高校教育への転換 556万4千円(173万4千円) ⇒教育委員会3

- ・大学や企業と連携する「探究的な学び」や地域と一体化した実践的な産業教育など、先進的な取組を実践する「未来の学校」(6校)を指定し、新たな学びの場と学びの仕組みを構築

高校生の海外での学びの推進 3479万1千円(3018万1千円) ⇒教育委員会4

- ・異文化を体験し、豊かな語学力やコミュニケーション能力を育むため、高校生の海外留学(信州つばさプロジェクト)を推進

子どもの可能性を最大限伸ばす特別支援学校への改革 5689万8千円(4398万6千円) ⇒教育委員会8

- ・一人ひとりに合わせて最適な教育を行うため、自立活動担当教諭を増員(+25名)し、各校の専門性向上チームを強化
- ・特別支援学校の児童生徒と地域の小・中学校との交流を進める副学籍コーディネーターを増員(2人→4人)

## 生涯にわたり学び続けられる環境の整備

### ◆誰もが生涯にわたって学ぶことを楽しみ、変化の激しい時代に必要な創造力を身に付けられるよう、教え合い学び合う様々な学びの機会を充実

様々な学びの機会を充実 9578万9千円(9200万8千円) ⇒ 県民文化部10・12、健康福祉部24、環境部1

- ・消費者大学、ウィメンズカレッジ、シニア大学、信州環境カレッジにより学びの機会を充実